人気麻雀ゲームが移植!!

ぎゅわんぶらぁ自己中心派 片山まさゆきの麻雀道場(仮称)

発売日未定　ゲームアーツ
価格未定／容量未定

ゲームアーツ参入第１弾として様々な機種に移植され、好評を博した麻雀ゲーム『ぎゅわんぶらぁ自己中心派』のパワーアップバージョンが登場する。モードは3種類あり、スタンダードな４人打ち麻雀の「フリー対戦」、麻雀テクニックに関するクイズが出題される「麻雀道場」、たこ討伐戦に代わる「クラス対抗麻雀」が楽しめる。漫画「片山まさゆきの麻雀教室」の新キャラクタ5名を加えて、総勢21名の個性的な面子を相手に賑やかな麻雀ができそうだ。



⇧ゲーム中の４人の配置は、相手の表情を見れるこのスタイル。これこそ、『ぎゃん自己』だ。画面はパソコン版



⇧対戦相手は個性豊かな人ばかり。今回は新キャラクタも登場するので、どんな手を打つかな？画面はパソコン版

新しいモードを加え新登場

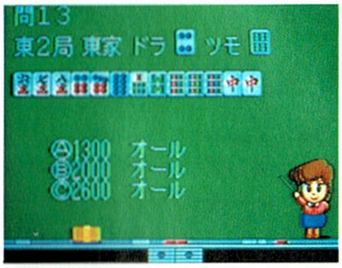
ぎゅわんぶらぁ自己中心派 片山まさゆきの麻雀道場

12月発売予定　ゲームアーツ
価格未定／4M　画面は開発中

前号では速報でお伝えした『ぎゃん自己』。今回はメガ版の画面写真をバッチリ紹介だ。このゲームの一番のウリのモードである「クラス対抗麻雀」は、麻雀の優劣でクラス編成がなされている四暗高校が舞台だ。特に一番下のクラスの東組の生徒は、いつもいじめられていた。そんな中に転校してきた豊臣君。クラスの枠をぶち破るためにひとり学園に挑戦状を叩きつけた。そして次第に学園を操る理事長の姿が？　対戦は他のクラスとの総当たり戦だぞ。



⇧右が主人公の豊臣秀幸君だ。通称ツカンポの豊臣。彼はこの間違った現状を打破するため、ひとり立ち上がった



⇧モードのひとつ「麻雀道場」だ。麻雀のクイズが出題される。問題は初心者向けから、通が唸るものまで様々だ

真の麻雀ゲームを教えよう

ぎゅわんぶらあ自己中心派 片山まさゆきの麻雀道場

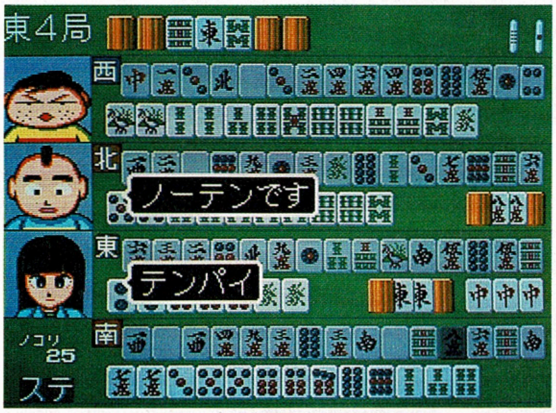
12月中旬発売予定　ゲームアーツ
6800円(税別)／4M　画面は開発中

前号程度の紹介ではもの足りないという『ぎゃん自己』ファンに今回はもっと枠を拡大してお送りしよう。すでに様々な機種に移植されているこのゲーム。個性的な面子がうけてヒットした麻雀ソフトだ。メガドライブ版では新たにマンガ「片山まさゆきの麻雀教室」から5名、同名のマンガから4名を加えて、総勢21名の雀士でさらに個性的な麻雀が楽しめる。



⇧懐かしいやつらばかり

伝統的な4人打ち



⇧縦に4人並んだこの配列は『ぎゃん自己』ではお馴染み。メガドライブでもやっとできる

3つのモードを紹介

メガドライブ版では基本モード(フリー対戦モード)に加えて、新しいモードが2つ増えた。クイズ形式の「麻雀道場」とマンガ「片山まさゆきの麻雀道場」の中の話の一つをゲーム化した「クラス対抗戦」だ。それではこれらの3つのモードを簡単に紹介しよう。

フリー対戦

正に従来の『ぎゃん自己』スタイルを継承した４人打ちの麻雀モード。総勢21名の連中の中から遊びたい面子を選び、純粋に麻雀を楽しむ。もちろん場を盛り上げるためのスパイスとしてキャラクタの毒のあるセリフも健在。表情も豊かだぞ。



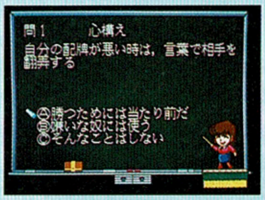
クラス対抗戦

最低クラスの豊臣が上のクラスのやつらに挑戦状を叩きつけた！　という衝撃的(？)なオープニングから始まるこのモード。キミが豊臣になって他の5クラスのメンバーと総当たり戦をするというものだ。最低クラスの意地を見せることができるか。



麻雀道場

麻雀のルールを覚えるため、そして腕を磨くためのクイズが満載されているモード。単なる点数計算や待ち牌を当てたりするだけではなく、ドラ夫先生などの珍回答も折り混ぜって楽しみながらできる。問題は全て3択。能力も判定してくれるのだ。



キャラ紹介

究極の麻雀個性派連中ばかりが集まった『ぎゃん自己』のもっとも面白い要素はなんといっても彼らの能書き、愚痴、叫び。これも21名の面子の性格がバラエティーに富んでいるおかげだ。そんな連中をちょっと拝見。

豊臣　秀幸



通称、ツキナシの豊臣。勝負に弱い

早見　明菜



天真爛漫な美人。天性のツキがある

徳川　康兵衛



自信の固まり。直滑降麻雀をする

キムチ



美少女結社テナリンズのメンバー

ゴッドハンド



完全無欠。いまだ衰えを知らず

律見江　ミエ



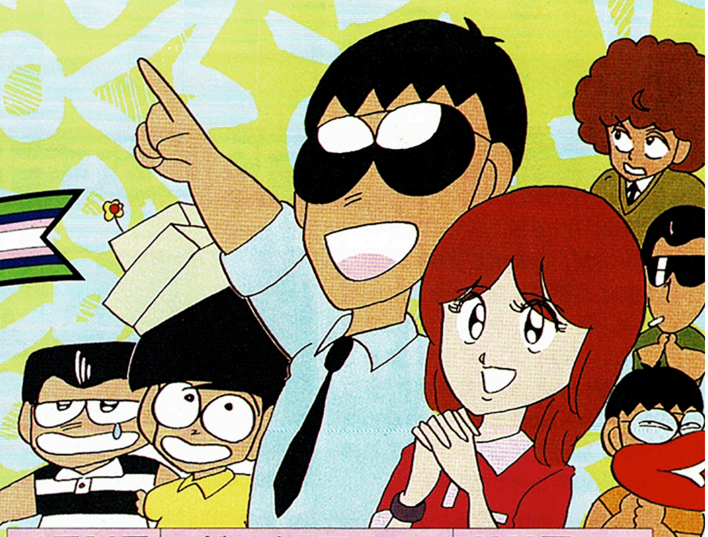
高校のアイドル的存在。お色気が○

『メガドライブFAN』1990年7,8,10月号掲載

NEW

4人打ち麻雀の決定版！

ぎゅわんぶらあ自己中心派 片山まさゆきの麻雀道場



あの『ぎゅわんぶらあ自己中心派』がパワーアップしてメガドライブにやって来た。新キャラクタを交えて21人の雀士の熱い戦いが今始まろうとしている。

12月14日	ゲーム アーツ		6800円(税別)	
4M	ROM	麻雀	パスワード	——

片山まさゆき流麻雀の集大成！

パソコンやファミコン、そしてPCエンジンでも好評だった『ぎゅわんぶらあ自己中心派』が、オリジナルモードや新しいキャラクタの参加など、装いも新たに『ぎゅわんぶらあ自己中心派　片山まさゆきの麻雀道場』としてメガドライブで遊ぶことが出来るようになったぞ。

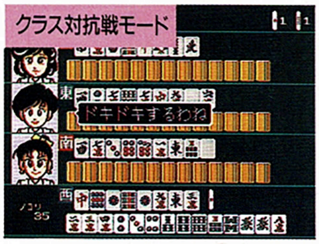


豊臣君の転校が全ての始まりだった

メガドライブオリジナルモードを追加

メガドライブ版の『ぎゃん自己』は、講談社から発行されている『片山まさゆきの麻雀教室』がベースになってる。それを元にして新しく「クラス対抗戦モード」と「麻雀道場モード」の2つのオリジナルモードが加わり3つのモードで遊べるようになった。

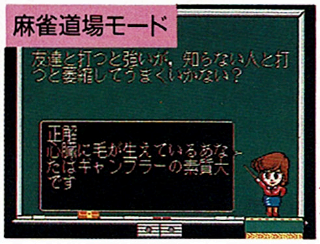
「クラス対抗戦モード」は「フリー対戦モード」にストーリーをつけたようなもので、今回の目玉的なモードになっている。そして「麻雀道場モード」は麻雀の基本から応用までのクイズだ。



今回のメインのモードだ



色々な楽しみ方ができる



麻雀を覚えるのに便利

さっそく目を付けられてしまった



個性あふれる相手

今回登場する雀士達は今までの『ぎゃん自己』と同じく個々の性格が強く押し出されている。登場する雀士は21人と、PCエンジン版よりも人数は減ってしまったものの、約半分の8人ものキャラが新しく登場することになったぞ。



一撃必殺極真麻雀。国士無双か？



大きな役に振り込んでしまった



必殺！　ミエちゃんのチャイ

原案本で予習・復習

このゲームは講談社からでている『片山まさゆきの麻雀教室』をもとにして構成されている。コミックのほうではドラ夫が主人公だったが、ゲームでは豊臣君がその座を奪ってしまったのだ。

この本には麻雀の基礎の基礎から、ある程度の応用まで簡単にわかりやすく書いてある。麻雀を知らない人でも楽しく読めるので、麻雀を覚えたい人にはぜひともお薦めしたい。



この本の他に『ぎゅわんぶらあ自己中心派』、『ぎゅわんぶらあ自己中心派2』のコミックも出ている

『メガドライブ FAN』1990 年 12 月号掲載

麻雀道場とフリー対戦で腕をためせ

いきなり「クラス対抗戦」に挑んでみるのもいいだろうが、やはり、まずは「麻雀道場モード」や「フリー対戦モード」で自分の実力を調べたほうがベストといえるだろう。『ぎゃん自己』には『ぎゃん自己』なりの打ち方があるので、普段の打ち方をしていても勝てないかも知れない。この2つのモードで実力を上げてくれ。

麻雀道場モードで基本をつかめ！

先にも書いたが、このモードでは麻雀の基本的なことから応用までをクイズにしてある。

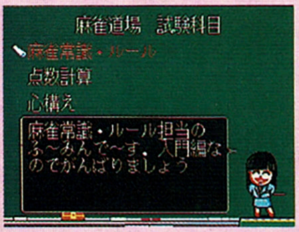
クイズの問題数は全部で250問もある。問題のテーマも6つに分かれていて、それぞれに違った先生が付いてくれる。クイズは各テーマごとに10問ずつ出題され、すべて三者択一になっている。



全ての学科で満点を取れるように

麻雀常識・ルール

麻雀道場のまず1時間目は、ふみ先生の「麻雀常識・ルール」の時間だ。麻雀初心者は必ず最初に出席してもらいたい。納得いくまで何回も受け直してこの時間で必ず満点を取るように心掛けよう。

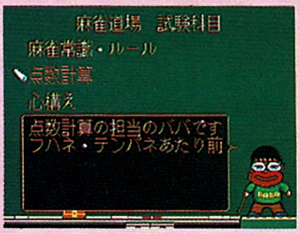


この科目は入門編だ

点数計算

2時間目はパパ先生の「点数計算」の時間だ。

麻雀は一応できるけど点数計算は面倒臭くて他人に頼んでしまう、という人が多くいるが、ちょっとしたコツを知れば簡単なものなのさ。

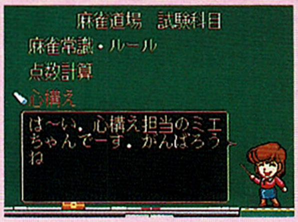


計算をマスターしろ

心構え

3時間目はミエ先生の「心構え」の時間です。

麻雀をするにあたって、時には技術よりも心の構え方ひとつでトップになれたりするものだ。なるべくゆったりとした心で打つようにしよう。



麻雀は心で打つものだ

テンパイ・当たり牌

4時間目はゴットハンド先生の「テンパイ・当たり牌」の時間だ。

テンパイできる牌を瞬時に見分けることができ、見逃すことがなければそれだけチャンスが多く訪れてくることになるぞ。

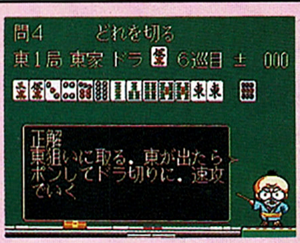


もっと精進しなければ

どれを切る？

5時間目は謎のじいさん先生の「どれを切る？」の時間。

時と場合、また自分の順位や得点などによって切る牌は変わっていくもの。ここではオーソドックスな答えが正解になっている。

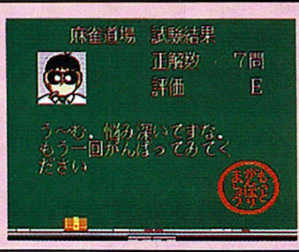


どの問題も難しいぞ

総合試験

最後の時間はドラ夫先生の「総合試験」が待っている。

今までの問題の総括なので、しっかりとやっていた人にはそう難しいことはないだろう。この時間だけ問題は20問出題されるぞ。



ここが最後の科目だ

フリー対戦モードで相手の性格を読め

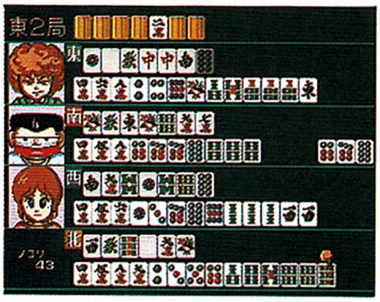
「フリー対戦モード」では各キャラクタの表情がよく分かるように顔を縦に並ばせている。

また、相手の持ち牌を見られるオープンや、キャラクタのうちの一人を指導につけられることが出来るので、それらをうまく使って他のキャラクタの打ち方や性格を知ることができるぞ。

相手の打ち筋が分かるようになったら、次はメインの「クラス対抗戦」に挑戦だ！

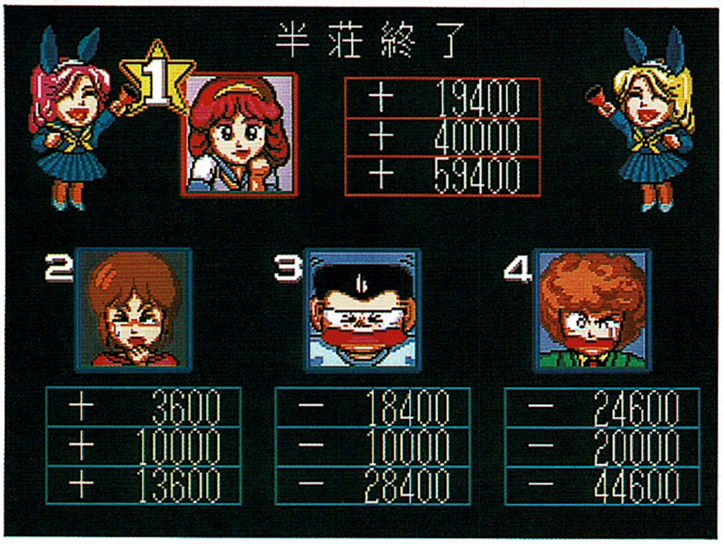


ツキあり、ツキなしを選べる



フリー対戦はオープンできるぞ

トップを取れば制服を着たバニーちゃんが祝福してくれる。がんばろう



それではメインのクラス対抗戦だ！

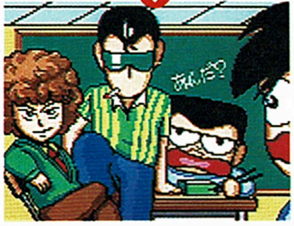
今回の主人公である豊臣君が転校してきた四暗高校(すうあんこうこう)。一見普通の高校に見えるが、実は一流雀士を目指す者の登竜門なのである。そこでは下級クラスである東組へのイジメが横行していた。それを見兼ねた豊臣君は上級クラスに挑戦を挑んだのだった…。はたして豊臣君は勝利をつかむことが出来るのだろうか。



東組の生徒はいつも上級クラスの生徒にイジメられているのだった



豊臣君は助けを求められてしまう



堪忍袋の緒が切れた豊臣君は勝負を挑んだ



これから豊臣君の戦いが始まる

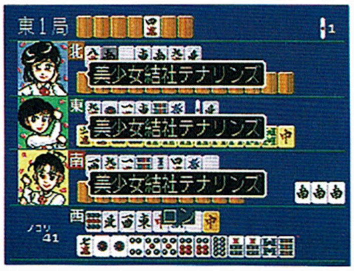
1回戦　南組

対戦方式は総当たり戦になっていて、戦いが終わった時点で得点がプラスになっていれば次のクラスに進むことができる。

最初の相手はキムチ、若葉、小雪の美少女結社テナリンズの3人だ。彼女達は麻雀初心者なのだが油断は禁物である。メンゼン即リーやナキを多用したノミ手などでペースが早くなるので、あまり大きな手を望まないほうがいいぞ。

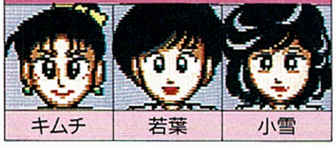


台が全自動卓なので、配牌もそれっぽいぞ



テナリンズを相手にするときは細かく小さな手で上がるようにしよう

この組の相手



2回戦　西組

2回戦目の面子は謎のじいさん、徳川、明智の3人。

この中で一番注意すべき人物は明智だ。謎のじいさんはあまり相手にしないほうがいいだろう。

この組の相手



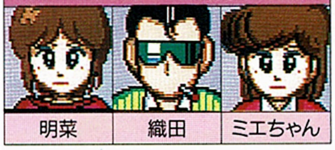


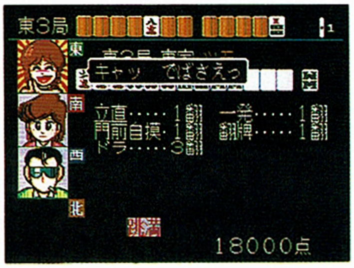
このナキまくるヤツが四暗刻で上がるとは珍しい。このままだとプラスになれないかも知れないぞ

3回戦　北組

この組では明菜ちゃんのツキのよさに驚くことだろう。リーチをしては最後の西を一発でツモったりするのだ。ミエちゃんのチャイにはいいえと答えよう。

この組の相手





明菜ちゃんは本当にツキがある。このツキだけは阻止しようがないので、他の2人を攻撃しよう

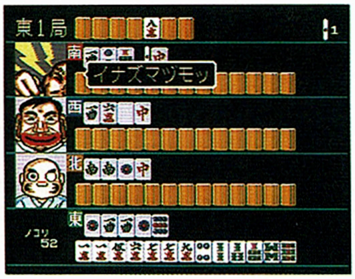
4回戦　白組

この組の面子はみんな人間離れれしたパワーを持っている。

3人で潰し合っている間にうまくプラスにもっていきたい。くれぐれも直撃されないように。

この組の相手





この3人は恐ろしいほど超人的な麻雀をする。振ることだけは絶対避けないと、とんでもない目にあうぞ

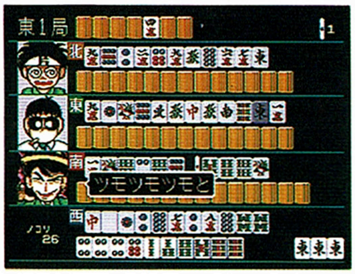
5回戦　発組

前半戦最後の試合は強敵揃いだ。

この試合は強く出過ぎてもオリ過ぎてもあまりよい結果は望めない。局の流れにうまく乗りながら的確な判断を心掛けよう。

この組の相手





このクラスに勝てば上級クラスのヤツらを見返してやることができるぞ。どんどん上がりまくれ！

全クラス制覇したが…

やっとのことで豊臣君は全クラスを制覇し、上級クラスの生徒を見返すことできるかと思われた。しかし、この学校の秩序を乱すような行為が問題となってしまい、学校側は反乱の芽を摘むべく豊臣君を潰しにかかったのだ…。

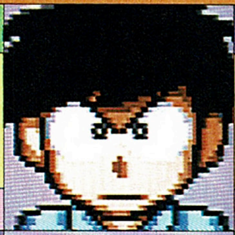
豊臣君はまたしても苦しい戦いを強いられてしまった。



全クラス制覇したのも束の間…

タコ雀士からプロ雀士まで21人勢ぞろい

豊臣秀幸



引きの弱さを技術力でカバーするためにこの学校に転校してきた。これが嵐の前兆だったのだ…。

技B 運E ラD

ババプロ



チンイツ大好きのムリチン一直線。麻雀の知識は上級だが、こだわりすぎて実際は強くない。

技B 運C ラC

バッドハンド



一撃必殺の極真麻雀は健在。彼との勝負はダマテンかツモリ合いになるだろう。

技B 運C ラD

盲牌の渡辺



麻雀の腕前はタコ同然なのだが、盲牌に関しては一流の腕を持っていて彼の右に出る者はいない。

技D 運D ラD

早見明菜



役や得点をあまり知らないが、天性のツキは人並みならないものを持っている。

技D 運特 ラA

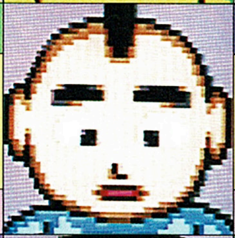
勝ちすぎの金蔵



天下のツキ男の配牌は相変わらずよいのだが、攻略されてしまうことが多くなったようだ。

技E 運特 ラA

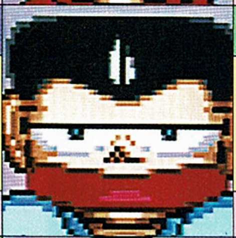
タコ宮内



突然想像もできない牌から打ってくるので、ペースを完全に狂わされてしまう。相手にするな。

技E 運B ラC

徳川康兵衛



手作りはナイてからするという、自己中心的な人間の代表と言えるだろう。自信の固まり。

技B 運B ラB

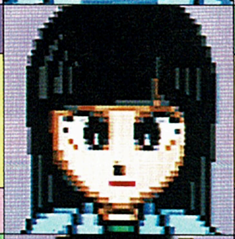
ゴッドハンド氏



氏もついに麻雀の極意を伝授にやって来たのだろうか。打ち方は完全無欠のムダヅモなし。

技A 運特 ラA

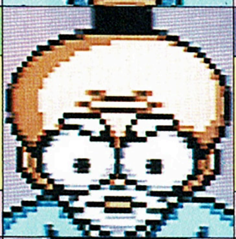
オクトパシーふみ



マナーが非常に悪くナキまくって場を荒らしてしまう。ホンイツが大好きである。

技D 運B ラC

謎のじいさん



打ち方が謎めいているが、じいさんなりのポリシーがあるようだ。あまり相手にしないことだ。

技B 運D ラC

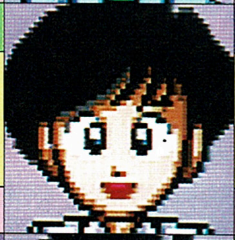
引若丸



引きに引いてツモ上がる。しかし、その引きの良さが逆に彼のウィークポイントになっている。

技B 運特 ラA

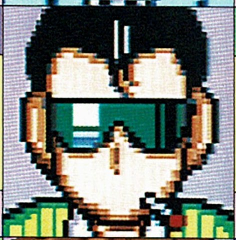
若葉



おおらかな元気さが身上。理論をまったく判っていないが、ビギナーズラックで勝っている。

技D 運A ラC

織田信太郎



一発・ウラドラ当たり前という価値観をもっている。俗にいうヒンシュク麻雀が得意。

技C 運A ラB

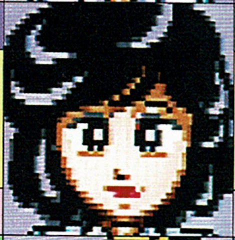
片ちん大王



今回は一生徒として登場しているが、何か裏がありそう。打ち方は基本がしっかりしている。

技B 運B ラB

小雪



テナリンズの中で一番固い打ち手だが振り込まないだけなので、ジリジリと落ちていく。

技C 運B ラC

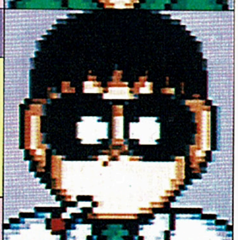
明智光一



どちらかと言えば理論派雀士ではあるが、実戦性が高い。安定していてあまりペースを崩さない。

技A 運C ラB

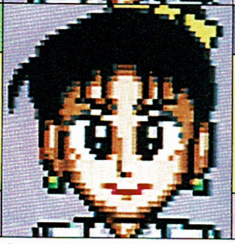
持杉ドラ夫



『ぎゃん自己』の主役的存在だったが、今回は豊臣君にその座を奪われてしまった。

技A 運A ラA

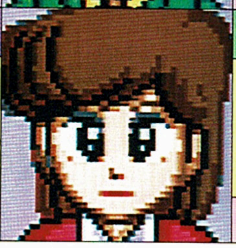
キムチ



ペースの早い麻雀になるので大物手は狙わないほうがいいだろう。役ノミ、クイタンなどが好き。

技C 運B ラC

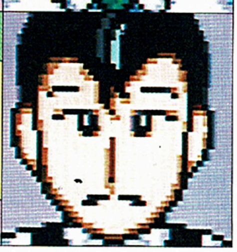
律見江ミエ



美人どころでこの高校のアイドル的存在。『チャイ』には優しく「はい」と答えたいものだ。

技A 運B ラA

店野真澄太



実直な性格ゆえに相手にうまく操られてしまう真面目不器用。しかし、麻雀のツボは得ている。

技B 運D ラC

表の㊍は技術、㊏はツキ、㊁は総合的なランクをしめすものです。